

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

| | | |
|--|--|----------|
| 名称：森おひさま保育園 | 種別：地域型保育事業(居宅訪問型保育事業除く) | |
| 代表者氏名：大石 栄子 | 定員(利用人数)：9名 | |
| 所在地：〒235-0023 横浜市磯子区森2-5-14ディアコートドエル101 | | |
| TEL：045-758-0130 | ホームページ： https://mori.ookaohisama.com/ | |
| 【施設・事業所の概要】 | | |
| 開設年月日：2014年04月01日 | | |
| 経営法人・設置主体(法人名等)：有限会社おひさま | | |
| 職員数 | 常勤職員：4名 | 非常勤職員：2名 |
| 専門職員 | (専門職の名称)：名 | |
| | 保育士：5名 | 調理師：1名 |
| 施設・設備 の概要 | (居室数) | (設備等) |
| | 保育室 | 調理室 |

③理念・基本方針

<基本理念>

集団の中で子ども一人ひとりが自分らしく生活し、成長できる場

<保育方針>

家庭的な雰囲気の中で、子どもらしくのびのびとすごせる環境を用意しその中で一人ひとりの個性を引き伸ばせる保育を目指す。子ども、保護者と保育園が信頼しあえるような関係を築いていく。

④施設・事業所の特徴的な取組

<森おひさま保育園の特徴的な取り組み>

おひさま全体で職員研修を年間で計画し実行しています。また、職員として、人として、望ましい姿など皆で共有する場を設けたりして保育士の質の向上を図ったり、外部の研修には職員の希望を聞きながら積極的に参加しています。

⑤第三者評価の受審状況

| | |
|---------------|--|
| 評価実施期間 | 2020年10月01日(契約日) ~ 2021年03月03日(評価結果確定日) |
| 受審回数(前回の受審時期) | 初回(年度) |

⑥総評

【施設・事業所の概要】

●森おひさま保育園は平成26年4月に開園され、運営主体は有限会社おひさま（以下、法人という）です。法人は、横浜市磯子区に横浜おひさま保育園・磯子おひさま保育園・おひさま学童クラブを、横浜市南区に大岡おひさま保育園を経営しています。法人は、平成12年に磯子駅前トイザラス浜田ビル3階に無認可保育室からスタートし、平成14年に横浜保育室に認定を受け、平成25年4月に南区大岡に法人第1号の認可保育園大岡おひさま保育園を設立後、横浜保育室を平成27年に改組し、0歳から5歳までを預かる第2番目の認可保育園磯子おひさま保育園を開園しました。その後、小規模の保育園を継続すべく、平成26年に小規模保育事業A型の森おひさま保育園を設立しました。

●保育理念は、「集団の中で子ども一人ひとりが自分らしく生活し、成長出来る場」を掲げ、保育方針に「家庭的な雰囲気の中で、子どもらしくのびのびとすごせる環境を用意し、その中で一人ひとりの個性を引き伸ばせる保育を目指す」とし、併せて「子ども、保護者と保育園が信頼しあえるような関係を築いていく」ことを据え、保育を実践しています。定員は、0歳～2歳児合計9名（各年齢定員3名ずつ）の子どもを預かっています。園舎は、マンション1階のワンフロアで家庭的な温かい雰囲気の中、子どもたちは異年齢で過ごしています。園庭は保有していませんが、天気の良い日は1日に2回、近隣へお散歩したり、公園や系列園の共通園庭に出かけ、戸外活動を積極的に行い、子どもたちは心身ともに元気いっぱいに過ごしています。

◇特に評価の高い点

1. 【一人ひとりを大切にした保育】

●森おひさま保育園は、小規模保育事業A型の2歳児以下の乳児を対象としている保育園です。0歳児は一人ひとりの甘えや欲求を十分に受け止め、愛着行動や信頼関係を育みながら、周りの人への関心、関わりが広がるように保育に当たり、1歳児は安心できる保育者や友だちとの関わりの中で自分の気持ちや欲求を満たすよう援助します。2歳児は、保育者との安定した関わりの中で、基本的な生活習慣において「自分でやろうとする意欲」を目標にして実践しています。森おひさま保育園は、温かい家庭的雰囲気の中で、一人ひとりを大切に、子どもらしく、のびのびした保育を推進しています。少人数で子どもと密に関わる保育を原点とした森おひさま保育園は、系列園の職員の異動希望も多く、他の系列園とも良い関係を維持しています。

2. 【関連保育園との連携・共助】

●森おひさま保育園は、系列園と至近距離に位置し、法人本部や磯子おひさま保育園での施設長会議や職員研修等にも参加し、計画的な研修の実施とタイムリーな情報共有が図られ、保育園の質の向上につながると共に、ケアレスミス的大幅削減に寄与しています。また、系列園の屋上園庭（磯子おひさま保育園）や、共通して利用できる2面の屋上園庭・3階に設けられた園庭（横浜おひさま保育園）で砂場や小スペースでの遊び、また、畑、田んぼもあり、森おひさま保育園の子どもたちは散歩を兼ねて系列園を訪れ、共通園庭を積極的に活用しています。園庭の共同利用を始め、防災の備蓄、系列園と互いに助け合いながら子育てができるメリットを生かし、充実したプログラム・活動ができています。

◇改善を求められる点

1. 【系列園のさらなる活用と職員の研鑽】

●大型保育園や小規模保育事業A型の保育園等まで、保育所保育指針に沿って平等に規程が設けられています。職員人材育成・教育については、限られた人員の小規模園が自

主演習に取り組む調整は決して容易ではありません。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で在宅勤務等、勤務形態に変更が生じたため、職員全員が集まったの会議や園内研修等は、思うように実施できない状況下に置かれました。しかし、法人のアイデア、系列園の活用により、リモート対応の会議や全体研修をコロナ禍でも開催することができました。この実行は、工夫による様々な可能性を証しています。小規模保育事業での課題、森おひさま保育園での活動の展開、職員の教育等、系列園を生かした工夫をさらに進め、ヒューマンエラーの削減につなげていかれることを期待しています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：森おひさま保育園

<評価に取り組んだ感想>

森おひさま保育園が開所して5年が過ぎ、今回は有限会社おひさま4園が同時に受審することになりました。月に1回の全体会議を第三者評価の勉強会に利用し全員で共有し、各部署に分かれての勉強会を何度も行いました。受審をきっかけに、職員一人ひとりが保育所保育指針の見直しや、多岐に分かれた設問の意味にも深く関わることができました。

今回は新型コロナウイルス感染症の中での受審でしたが、小規模園なので常に子ども達全員の声が耳に入り、日頃の様子を見ていただけたと思います。散歩時の様子や森おひさま保育園で大事にしている食事も「見てみて、全部食べたよ」「美味しいね」「おかわり!」等の生の声が聞こえて良かったと思っています。

<評価後取り組んだ事として>

1. 自園の特色は何なのか?

職員間で話し合い、共有を深めました。

2. 食材や食の環境への意識や調理する人への感謝の気持ちが育つように、子どもと調理員等との関わりや食に関わる保育環境に配慮していきます。

3. ヒューマンエラーの削減については、ミスが起きにくい環境を作り、日頃から職員のコミュニケーションが良く取れる組織作りをしていきたいと思っています。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり

